

～実施率は？学んだ内容は？学ぶ目的は？～ 年齢帯別 学び事・習い事の実施率に関する調査

- この1年間で「学び事・習い事」の実施率が最も高いのは女性25～29歳、男性30～34歳
- 男女とも多くの年齢帯で「学び事・習い事」を実施する人と実施しない人に二極分化
- 仕事に関する講座は男女とも20～34歳で実施率が高く、50～64歳で低くなる

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山口 文洋）が企画・運営する講座・レッスンの資料請求・予約サイト『ケイコとマナブ.net』は、学び事・習い事情報を把握するため、全国の働く男女を対象に「人気おケイコランキング」調査を実施しています。今回はその結果から、年齢帯別（20～34歳、35～49歳、50～64歳）に比較した調査結果がまとまりましたので、その結果をご報告いたします。なお、結果は『ケイマナニュース！』でも紹介しています。<http://www.keikotomanabu.net/news/>

結果の要約

◇学び事・習い事の実施率、「実施しない理由」～年齢帯別比較～

…P.5～9

- 「学び事・習い事」の実施率は、男女とも20代後半～30代前半が高くなる傾向
- 「学び事・習い事」の未経験率は、女性：30%前後、35歳以上男性：45%前後で一定
- 実施しない理由は「費用」「仕事の疲労」「時間」「やってみたい学びが見当たらない」

2016年の学び事・習い事の実施率を問うたところ、女性では25～29歳、男性では30～34歳が最も高く、ともに25～34歳をピークに以降年齢が高くなるとともに実施率は下がる傾向にあった。また、「過去に実施したことはない」と答えた比率を集計したところ、女性では全年齢帯で30%前後、男性では34歳まででは年齢が上がるごとに未経験者は少なくなるものの、35歳以上では50%弱と変わらず、学び事・習い事を実施する人・しない人が二極分化していることが推定される。

また、過去1年間学び事・習い事を実施しなかった人にその理由を問うたところ、「学習費用がかかる」「仕事で疲れていてやる気が起きない」「勉強時間がなく続けられなさそう」「やってみたい学び事・習い事が見当たらない」の4つの理由のいずれかを挙げた人が多数を占めた。

◇実施した学び事・習い事、実施目的 ～年齢帯別比較～

…P.10～11

- 女性では「ヨガ・ピラティス」「英語」、男性では「英語」「簿記」が全年齢帯で人気
- 学ぶ目的は女性の20～34歳・男性では仕事目的の項目が高い

この1年間で実施した学び事・習い事においては、女性は「ヨガ・ピラティス」「英語」、男性は「英語」「簿記」が全年齢帯で人気を集めた。ほか、女性では料理関連の習い事が若年で順位が高く、男性では35～49歳で「宅地建物取引士」、50～64歳で「ゴルフ」が上位となった。学ぶ目的では、男性では全年齢帯とも1位「仕事のため」2位「教養・知識を深めるため」だったが、女性では年齢帯ごとに特徴がみられる。全体傾向としては、若年になるほど「仕事のため」「就職・転職のため」といった仕事目的の項目が高くなっている。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

調査概要と回答者プロフィール 1

【ケイコとマナブ 学び事・習い事実施率調査 調査概要】

調査目的： 20～34歳、35～49歳、50～64歳

それぞれの学び事・習い事の実施率を把握する

調査対象者：全国20～64歳の働く男女（株式会社マクロミルのモニター）

調査方法： インターネットアンケート調査

調査期間： 2016年12月16日(金)～2016年12月20日(火)

回収数：

	女性	男性	計
20～34歳	1,378	1,421	2,799
35～49歳	1,883	1,917	3,800
50～64歳	1,715	1,686	3,401
合計	4,976	5,024	10,000

あらかじめ設定した下記の6ブロックの地域から、平成22年国勢調査の人口比率で男女／年齢帯別に回収

- ・北海道・東北地方（北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）
- ・関東地方（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県）
- ・中部地方（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県）
- ・関西地方（大阪府、京都府、奈良県、兵庫県、滋賀県、和歌山県）
- ・中国・四国地方（岡山県、広島県、鳥取県、島根県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、徳島県）
- ・九州・沖縄地方（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）

【回答者プロフィール】

◆ 居住地

女性	20～34歳	35～49歳	50～64歳
北海道・東北	10.2%	10.4%	12.7%
関東	36.4%	36.0%	32.0%
中部	17.3%	17.8%	18.1%
関西	16.7%	16.9%	16.0%
中国・四国	8.1%	8.2%	9.0%
九州・沖縄	11.2%	10.6%	12.2%

男性	20～34歳	35～49歳	50～64歳
北海道・東北	10.1%	10.2%	12.3%
関東	37.5%	37.5%	33.5%
中部	18.0%	18.3%	18.3%
関西	15.9%	16.0%	15.4%
中国・四国	8.0%	8.0%	8.8%
九州・沖縄	10.5%	10.0%	11.7%

◆ 雇用形態

	20～34歳	35～49歳	50～64歳	20～34歳	35～49歳	50～64歳
	女性	女性	女性	男性	男性	男性
会社員、公務員、団体職員	52.2%	34.3%	26.0%	74.3%	75.1%	61.5%
契約・派遣社員	10.4%	11.4%	9.4%	5.1%	4.5%	7.5%
アルバイト・パート	26.7%	42.9%	48.4%	9.7%	4.3%	4.2%
自営・フリーランス	3.3%	6.6%	11.2%	5.3%	11.3%	16.6%
その他	7.5%	4.8%	5.0%	5.5%	4.8%	10.1%

調査概要と回答者プロフィール 2

【ケイコとマナブ おケイコランキング調査 調査概要】

調査目的： 20～34歳、35～49歳、50～64歳それぞれの学び事・習い事の実態を把握するとともに、今後の意向を確認する

調査対象者：全国20～64歳の働く男女

(株式会社マクロミルのモニターに実施した前掲「実施率調査」において、
学び事・習い事を「1年以内にしたことがある」と回答した者に対して実施)

調査方法：インターネットアンケート調査

調査期間：2016年12月21日(水)～2016年12月24日(土)

回収数：

	女性	男性
20～34歳	518	518
35～49歳	210	209
50～64歳	208	208

あらかじめ設定した下記の6ブロックの地域から、平成22年国勢調査の人口比率で男女／年齢帯別に回収

- ・北海道・東北地方 (北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)
- ・関東地方 (東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県)
- ・中部地方 (愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県)
- ・関西地方 (大阪府、京都府、奈良県、兵庫県、滋賀県、和歌山県)
- ・中国・四国地方 (岡山県、広島県、鳥取県、島根県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、徳島県)
- ・九州・沖縄地方 (福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)

【回答者プロフィール】

◆ 居住地

	20～34歳	35～49歳	50～64歳	20～34歳	35～49歳	50～64歳
	女性	女性	女性	男性	男性	男性
北海道・東北	11.0%	11.0%	13.0%	10.8%	10.5%	12.5%
関東	34.7%	34.8%	31.3%	36.7%	36.8%	32.2%
中部	18.0%	18.1%	18.3%	18.0%	18.7%	18.8%
関西	17.0%	17.1%	15.9%	15.8%	15.8%	15.4%
中国・四国	8.5%	8.6%	9.6%	8.1%	8.1%	9.1%
九州・沖縄	10.8%	10.5%	12.0%	10.6%	10.0%	12.0%

◆ 雇用形態

	20～34歳	35～49歳	50～64歳	20～34歳	35～49歳	50～64歳
	女性	女性	女性	男性	男性	男性
会社員・契約・派遣社員	72.0%	54.8%	27.9%	79.2%	83.3%	69.2%
公務員・団体職員	4.1%	2.9%	4.8%	7.3%	2.9%	9.1%
自営・フリーランス	3.1%	9.0%	23.6%	5.2%	9.1%	19.2%
アルバイト・パート	20.8%	33.3%	43.8%	8.3%	4.8%	2.4%

【学び事・習い事選択肢一覧】

1	英語
2	フランス語
3	イタリア語
4	スペイン語
5	中国語
6	韓国語
7	ワード・エクセル
8	アクセス
9	WEBクリエイティブ
10	DTP
11	SE・プログラマ
12	簿記
13	宅地建物取引士
14	税理士
15	行政書士
16	司法書士
17	ファイナンシャルプランナー
18	中小企業診断士
19	社会保険労務士
20	公認会計士
21	ビジネススクール・MBA
22	インテリアコーディネーター
23	CAD
24	ライター・編集・シナリオ
25	心理・カウンセリング
26	医療（看護・医療事務など）
27	ホームヘルパー
28	幼児教育（保育士・ベビーシッターなど）
29	ブライダルコーディネーター
30	エステティシャン
31	整体・マッサージ
32	トリマー
33	ヴォーカル・カラオケ
34	ゴスペル
35	ピアノ
36	バイオリン
37	フルート
38	サクソス
39	ウクレレ
40	ギター
41	ドラム
42	琴
43	三味線・三線
44	絵画
45	陶芸
46	ジュエリー・アクセサリー
47	編み物・刺しゅう
48	写真・カメラ
49	家庭料理
50	フランス料理

51	イタリア料理
52	中華料理
53	エスニック料理（ベトナム、タイ、インド）
54	日本料理・懐石料理
55	薬膳・漢方
56	パン
57	お菓子
58	お茶（紅茶、煎茶、中国茶）
59	ワイン・チーズ
60	食育
61	メイク
62	カラー（コーディネーター、セラピー）
63	ネイル
64	アロマセラピー
65	リフレクソロジー
66	茶道（抹茶）
67	マナー・フィニッシング
68	着付け
69	フラワーアレンジメント
70	プリザーブドフラワー
71	生け花
72	カーデニング
73	書道
74	ペン字
75	フィットネスクラブ
76	エアロビクス・ボクササイズ
77	ゴルフ
78	テニス
79	乗馬
80	ダイビング
81	サーフィン・ボディーボード
82	ボルダリング
83	ヨガ・ピラティス
84	ウォーキング
85	太極拳
86	護身術
87	空手
88	日本舞踊
89	社交ダンス
90	バレエ
91	ジャズダンス
92	ストリートダンス
93	タップダンス
94	フラメンコ
95	フラダンス
96	サルサ
97	アルゼンチンタンゴ
98	ベリーダンス
99	その他

【調査概要一覧】

	総回収数	調査期間	対象者※		調査方法
			性別	年齢	
2016年度	1871人	2016年12月21日～24日	女性・男性	20～34歳・35～49歳・50～64歳	インターネット アンケート 調査
2015年度	1871人	2015年12月11日～13日	女性・男性	20～34歳・35～49歳・50～64歳	
2014年度	2072人	2014年12月12日～14日	女性・男性	20～34歳・35～49歳	
2013年度	2072人	2013年12月14日～16日	女性・男性	20～34歳・35～49歳	

※株式会社マクロミルのモニターに行った「学び事・習い事の実施率に関する調査」において、学び事・習い事を「1年以内にしたことがある」と答えた者のうち、「学生」「専業主婦」「無職」を除く者に対し実施。

この1年間での「学び事・習い事」の実施率が最も高い年齢帯は「25～29歳」。一方、学び事・習い事を実施したことはないと答える人の比率は年齢帯を問わず「3割前後」で大きな変化はなく、学び事・習い事を実施する人・しない人が二極分化していることが推定される。

全国の働く女性に、この1年間でなんらかの学び事・習い事を実施したかどうかを問うたところ、学び事・習い事の実施率（「現在も継続している」「1年以内にしたことがある」と答えた人の合計）は
 ①「25～29歳」の年齢帯が最も高く、続いて「35～39歳」「30～34歳」が高くなる結果となった。実施率はその後、45～59歳の年齢帯で少し低くなり、「60歳以上」でわずかながら高くなる。子どもの教育費の負担がなくなり自分に使えるお金が増えている結果ではないかと推察される。

②一方、「したことはないし、したいと思わない」「したことはないが、したいと思っている」の数字の合計は、年齢が高くなって3割前後でありあまり変化がない。本来、多くの人々が学び事・習い事を実施したりしなかったりしていれば、「したことはない」の比率は年齢が上昇するとともに小さくなっていくはずであるが、この結果からは、学び事・習い事を実施する人としらない人が二極分化し、「学ぶ人は何度も学ぶ」「学び事を実施しない人はずっと実施しない」という状況にあることが推定される。

■ 学び事・習い事の実施率（年齢帯別比較・女性 単一回答）

【質問の際の注記】

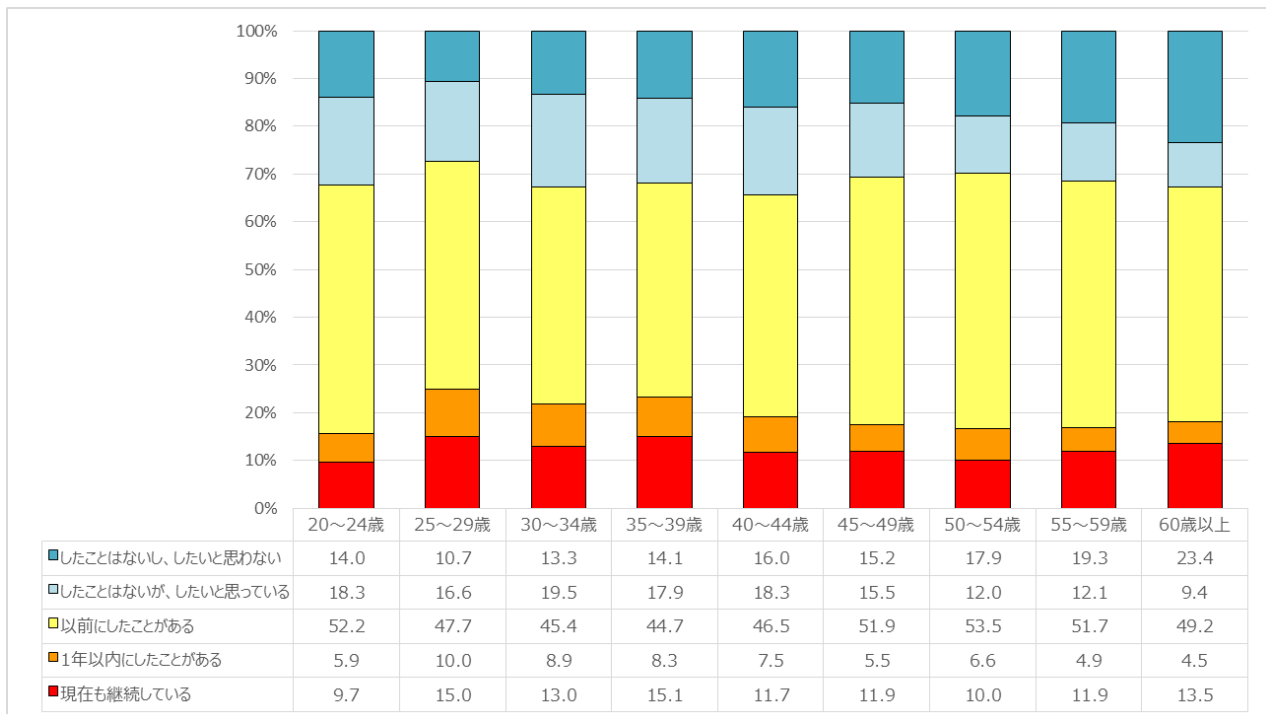
※学び事（習い事・学習含む）とは、趣味に関するものだけでなく「資格取得」などの仕事・スキルアップに関するものも含まれます。

※継続的なものだけでなく、1回完結のものや短期集中講座のものを含みます。

※先生（インストラクター等）に指導してもらったものも、通信教育も、全て含みます。

（16年 N=4,976）

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上
この1年間での学び事・習い事の実施率(%)※1	15.6	25.0	21.8	23.3	19.2	17.4	16.7	16.8	18.0
学び事・習い事の未経験率(%)※2	32.3	27.3	32.8	32.0	34.3	30.7	29.8	31.5	32.8
集計数(人)	186人	560人	632人	604人	693人	586人	918人	553人	244人



(%)

男性では、「学び事・習い事」の実施率が最も高い年齢帯は「30～34歳」。一方、学び事・習い事を実施したことはないと答える人の比率は35歳以上は「45～50%」の間でほぼ一定し、変化しなくなる。男性では、年齢が高くなると、学び事・習い事を実施する人・しない人が二極分化していることが推定される。

- ① 一方、男性の実施率は30～34歳の年齢帯が最も高く（「現在も継続している」「1年以内にしたことがある」の合計：18.8%）、続いて25～29歳（同：18.0%）となっている。実施率はその後、年齢帯が上がるにつれて低くなっていき、「60歳以上」では6.2%という結果となった。
- ② 一方、学び事・習い事未経験者の比率（「したことはないし、したいと思わない」「したことはないが、したいと思っている」の数字の合計）は、34歳までの年齢帯では年齢が上がるごとに小さくなるが、35歳以上ではほぼ変化しなくなる。34歳までの年齢帯では、それまで学び事を実施しなかった人も、年齢を追うごとに新たに学び事を実施していると思われる。この年代の場合、キャリアアップ・スキルアップを考える時期にはすでに、リーマンショックの影響で企業が教育研修費を圧縮しており、企業負担での学習を経験することは少なくなっている。その結果、学習は自ら実施するもの、と考える人が多くなり、それが実施経験者比率の増加につながっているのではないかと考えられる。この「未経験率」は、35歳以上では一転、5割弱で変化しなくなる。この年齢帯では女性同様、学び事・習い事を実施する人としない人が二極分化し、「学ぶ人は何度も学ぶ」「学び事を実施しない人はずっと実施しない」という状況にあることが推定される。

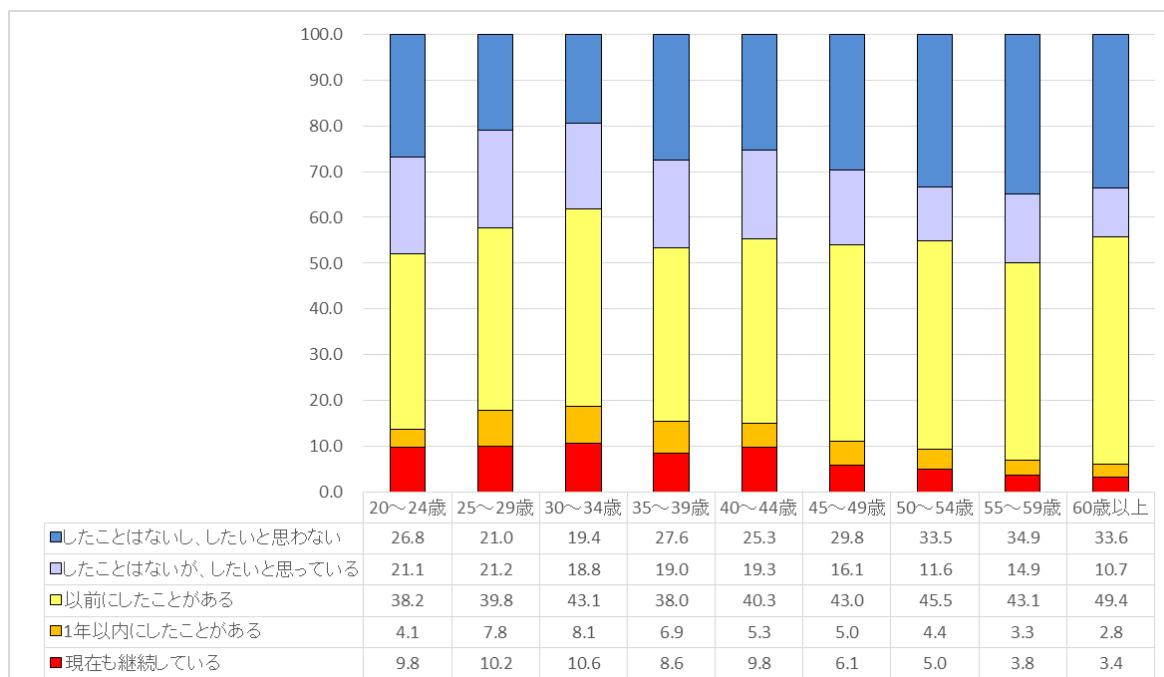
■ 学び事・習い事の実施率（年齢帯別比較・男性 単一回答）

【質問の際の注記】※学び事（習い事・学習含む）とは、趣味に関するものだけでなく「資格取得」などの仕事・スキルアップに関するものも含まれます。※継続的なものだけでなく、1回完結のものや短期集中講座のものを含みます。※先生（インストラクター等）に指導してもらうものも、通信教育も、全て含みます。（16年 N=5,024）

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上
この1年間での学び事・習い事の実施率(%)※1	13.8	18.0	18.8	15.4	15.1	11.1	9.4	7.1	6.2
学び事・習い事の未経験率(%)※2	48.0	42.2	38.2	46.6	44.7	45.9	45.1	49.8	44.4
集計数(人)	123人	462人	836人	421人	703人	793人	756人	576人	354人

※1 「現在も継続している」「1年以内にしたことがある」と答えた人の合計

※2 「したことはないし、したいと思わない」「したことはないが、したいと思っている」と答えた人の合計



(%)

■ 学び事・習い事の実施率（女性 単一回答）

女性・雇用形態別	現在も継続している	1年以内に にしたこと がある	それ以前 にしたこと がある	したことは ないが、し たいと思 っている	したことは ないし、し たいと思 わない	回答者数
会社員	14.2	9.1	46.7	16.8	13.2	1,609
公務員・教員・団体職員	12.4	9.5	52.2	12.4	13.4	201
契約・派遣社員	14.0	7.1	52.9	15.0	11.0	520
アルバイト・パート	9.8	5.0	50.4	15.5	19.3	2,006
自営・フリーランス	16.3	8.6	48.2	11.1	15.8	361
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(人)

実施率	未経験率
23.2	30.1
21.9	25.9
21.2	26.0
14.8	34.7
24.9	26.9
(%)	(%)

女性・世帯年収別	現在も継続している	1年以内に にしたこと がある	それ以前 にしたこと がある	したことは ないが、し たいと思 っている	したことは ないし、し たいと思 わない	回答者数
400万円未満	10.9	6.2	48.5	16.6	17.8	1,368
400～600万円未満	10.7	7.0	48.5	18.1	15.8	1,003
600～800万円未満	10.4	7.0	50.2	15.3	17.1	632
800万円以上	16.0	10.0	47.3	12.1	14.6	711
わからない	14.0	5.4	47.8	15.8	16.9	556
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(人)

実施率	未経験率
17.1	34.4
17.6	33.9
17.4	32.4
26.0	26.7
19.4	32.7
(%)	(%)

■ 学び事・習い事の実施率（男性 単一回答）

男性・雇用形態別	現在も継続している	1年以内に にしたこと がある	それ以前 にしたこと がある	したことは ないが、し たいと思 っている	したことは ないし、し たいと思 わない	回答者数
会社員	6.8	6.1	41.5	18.0	27.6	3,084
公務員・教員・団体職員	5.6	6.5	44.8	17.4	25.8	449
契約・派遣社員	6.3	4.9	45.3	13.9	29.6	287
アルバイト・パート	8.2	2.7	49.1	16.5	23.4	291
自営・フリーランス	7.5	3.8	45.5	11.4	31.8	572
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(人)

実施率	未経験率
12.9	45.6
12.0	43.2
11.1	43.6
11.0	39.9
11.4	43.2
(%)	(%)

男性・世帯年収別	現在も継続している	1年以内に にしたこと がある	それ以前 にしたこと がある	したことは ないが、し たいと思 っている	したことは ないし、し たいと思 わない	回答者数
400万円未満	7.0	4.2	39.4	17.6	31.8	1,083
400～600万円未満	6.2	5.1	42.3	18.6	27.8	1,244
600～800万円未満	8.4	6.2	43.8	14.8	26.9	893
800万円以上	8.0	6.9	43.9	16.3	24.9	1,063
わからない	8.1	4.7	47.0	11.5	28.7	321
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(人)

実施率	未経験率
11.2	49.4
11.3	46.4
14.6	41.7
14.9	41.2
12.8	40.2
(%)	(%)

男女それぞれ、雇用形態・世帯年収別に集計を行ったところ、下記のような特徴があった。

（女性）

- ①雇用形態が「アルバイト・パート」の場合、実施率が低く、また未経験率も高くなる
- ②世帯年収が「800万円以上」では実施率が上がるが、「未満」の場合の実施率にはあまり差はみられない

（男性）

- ③雇用形態ごとの実施率の差は小さく、未経験率は「アルバイト・パート」の方が低くなる
- ④世帯年収が「600万円以上」で実施率が高くなる

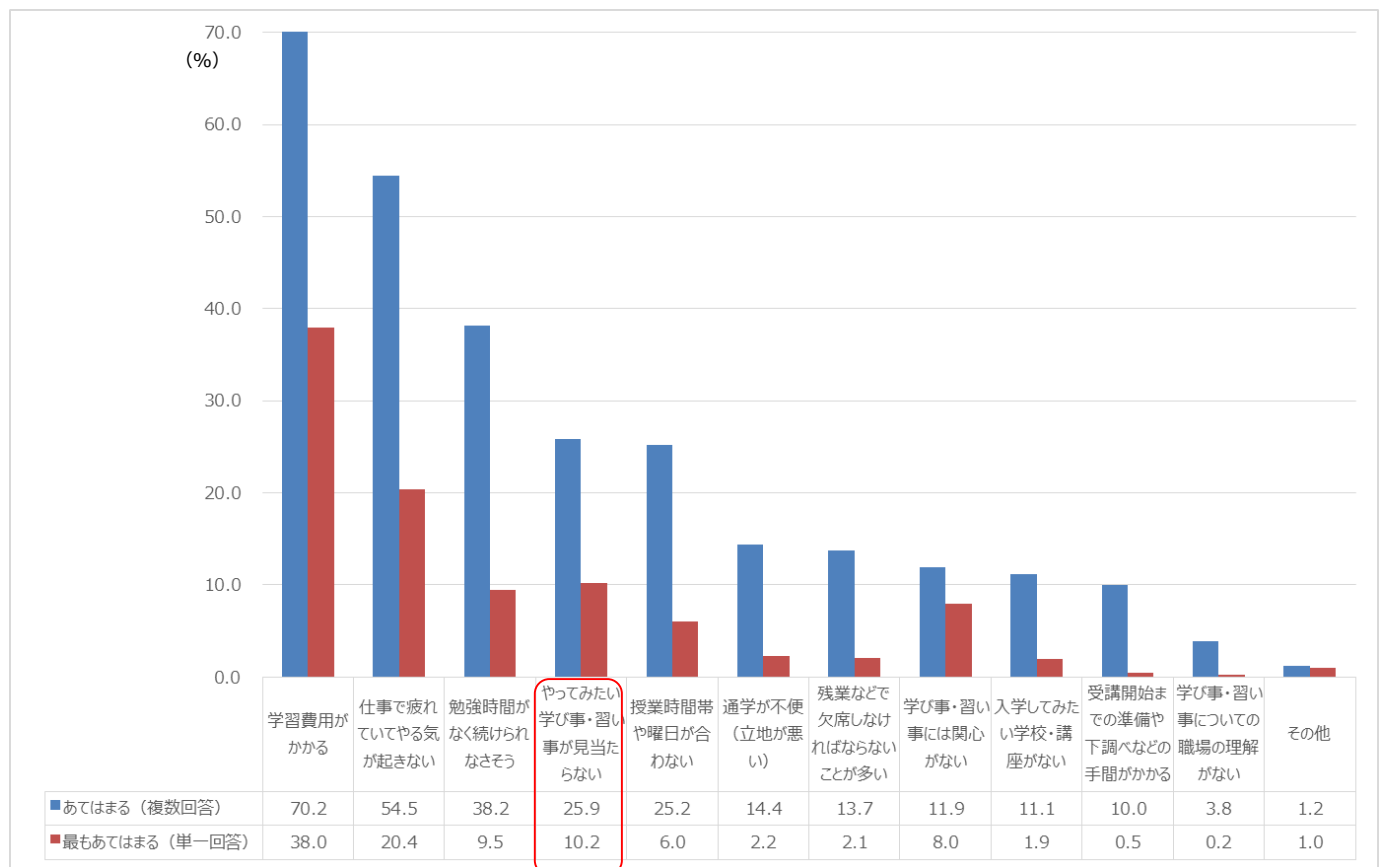
「学び事・習い事」をしない理由は「学習費用」。
 続いて、「仕事の疲労」「時間」「やってみたい学び事・習い事が見当たらない」。

P2の質問で、学び事・習い事を実施「したことはないし、したいとは思わない」「したことはないが、したいと思っている」「以前にしたことがある」と答えた人に対し、学び事・習い事を実施されない（現在実施していない）理由を問うたところ、最も回答率が高かったのは「学習費用がかかる」となり、続いて「仕事で疲れていてやる気が起きない」「勉強時間がなく続けられなさそう」「やってみたい学び事・習い事が見当たらない」（複数回答）となった。

「授業時間帯や曜日が合わない」「通学が不便」「受講開始までの準備や下調べなどの手間がかかる」といった物理的な側面や、「職場の理解がない」といった環境面での項目はポイントが小さい。学び事・習い事の実施については、まずは「やる気が起きるかどうか」「やってみたいと思えるかどうか」というモチベーション的な側面が重要であると考えられる。

■ 学び事・習い事の阻害要因（女性・1年以内実施者を除く 複数回答・単一回答）

（集計人数N=4,003）



男性の場合も、「学び事・習い事」をしない理由の第1位は「学習費用」。
 続いて、「仕事の疲労」「時間」「やってみたい学び事・習い事が見当たらない」。
 「学び事・習い事には関心がない」という層も一定数存在。

男性の場合も、「費用」「仕事の疲労」「時間」「やってみたい学び事・習い事が見当たらない」という項目が上位を占める結果となった。

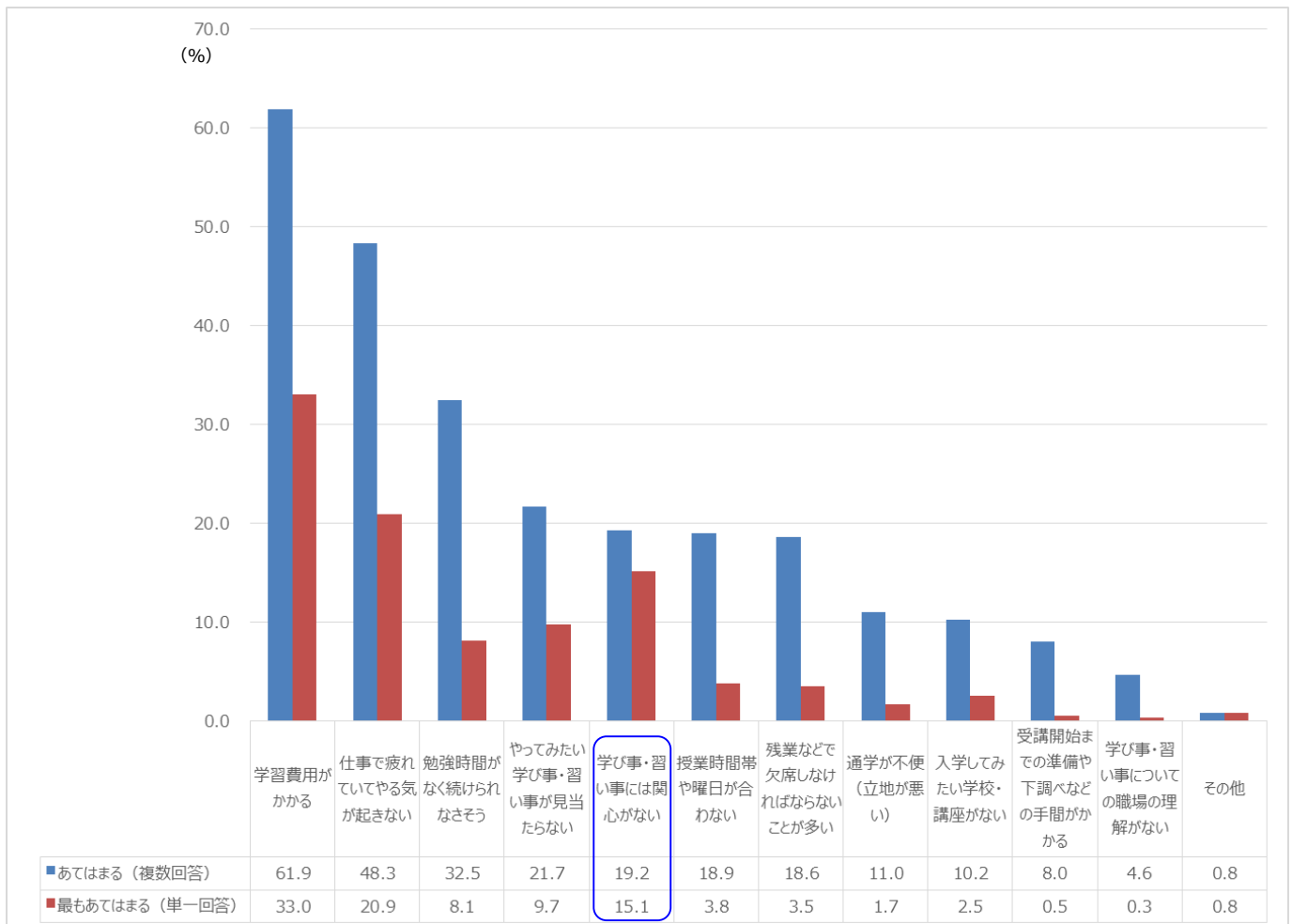
「授業時間帯や曜日が合わない」「通学が不便」「受講開始までの準備や下調べなどの手間がかかる」といった側面や、「職場の理解がない」といった環境面での項目は順位が低く、仕事の疲労を上回るくらい「やってみたい」と思える内容であるかどうか重要なポイントであることがわかる。

一方で、女性と異なり、「学び事・習い事には関心がない」と答えた人が複数回答で19.2%存在。単一回答では15.1%を占め、第3位の理由となっている。

これまで学び事・習い事でうまくいった、楽しかったといった成功体験を持ったことがなく、関心のない層が一定数存在することがうかがわれる結果となった。

■ 学び事・習い事の阻害要因（男性・1年以内実施者を除く 複数回答・単一回答）

（集計人数N=4,374）



「**ヨガ・ピラティス**」「**英語**」「**フィットネスクラブ**」は全年齢帯を通じ人気。
 「**家庭料理**」「**パン**」「**お菓子**」といった料理関連の講座は
 より若い年齢帯で人気が高い。
 「**簿記**」「**医療(看護・医療事務など)**」「**ワード・エクセル**」といった
 仕事関連の講座は50～64歳で実施率が下がる。

この1年間に実施した習い事・学び事を年齢帯別に比較してみると、「英語」「ヨガ・ピラティス」「フィットネスクラブ」については、年齢帯を問わず人気。
 一方、「家庭料理」「お菓子」「パン」といった料理系は若い年齢帯ほど順位が上がる傾向。
 また「簿記」「医療(看護・医療事務など)」「ワード・エクセル」といった仕事関連の講座は、50～64歳では大幅に順位を下げている。

学ぶ目的では、20～34歳で「仕事のため」、35～49歳で「ストレス発散・気分転換のため」、50～64歳で「教養・知識を深めるため」「好きなことに没頭するため」の順位がそれぞれ上がっている。

■この1年間に実施した学び事・習い事 ～年齢帯別・順位比較

20～34歳 女性	35～49歳 女性	50～64歳 女性
1位 ヨガ・ピラティス	1位 ヨガ・ピラティス	1位 英語
2位 英語	2位 英語	2位 ヨガ・ピラティス
3位 家庭料理	3位 フィットネスクラブ	3位 フィットネスクラブ
4位 フィットネスクラブ	4位 簿記	4位 ピアノ
5位 パン	5位 パン	5位 エアロビクス・ボクササイズ
6位 簿記	5位 ワード・エクセル	5位 茶道(抹茶)
7位 医療(看護・医療事務など)	7位 書道	7位 書道
8位 ペン字	8位 家庭料理	7位 着付け
8位 お菓子	8位 医療(看護・医療事務など)	7位 ゴルフ
10位 ピアノ	8位 ピアノ	10位 ペン字
10位 書道	8位 アロマテラピー	10位 生け花
12位 ファイナンシャルプランナー	12位 エアロビクス・ボクササイズ	12位 パン
13位 ワード・エクセル	12位 着付け	12位 家庭料理
14位 メイク	14位 お菓子	12位 韓国語
15位 日本料理・懐石料理	14位 ヴォーカル・カラオケ	15位 テニス
15位 生け花	14位 韓国語	15位 フラワーアレンジメント
15位 アロマテラピー	14位 編み物・刺しゅう	17位 医療(看護・医療事務など)
18位 テニス	18位 ペン字	17位 フラダンス
18位 茶道(抹茶)	18位 テニス	19位 簿記
20位 中国語、エアロビクス・ボクササイズ、心理・カウンセリング、着付け、フラワーアレンジメント、ウォーク・カラオケ、ストリートダンス	18位 茶道(抹茶)	19位 心理・カウンセリング
	18位 心理・カウンセリング	19位 太極拳

■学び事・習い事を実施した目的 ～年齢帯別・順位比較

20～34歳 女性	35～49歳 女性	50～64歳 女性
1位 プライベートを充実させるため	1位 ストレス発散・気分転換のため	1位 教養・知識を深めるため
2位 仕事のため	2位 プライベートを充実させるため	2位 好きなことに没頭するため
3位 ストレス発散・気分転換のため	2位 教養・知識を深めるため	3位 健康のため
4位 教養・知識を深めるため	4位 仕事のため	4位 プライベートを充実させるため
5位 レベルアップのため	5位 健康のため	5位 レベルアップのため
6位 将来に備えるため	6位 レベルアップのため	6位 ストレス発散・気分転換のため
7位 就職・転職のため	7位 将来に備えるため	7位 仕事のため
8位 好きなことに没頭するため	8位 好きなことに没頭するため	8位 将来に備えるため
9位 健康のため	9位 就職・転職のため	8位 特技を作るため
10位 美容のため	10位 特技を作るため	10位 人との出会いづくりのため
11位 特技を作るため	11位 美容のため	11位 就職・転職のため
12位 ダイエットのため	12位 ダイエットのため	12位 美容のため
13位 人との出会いづくりのため	13位 人との出会いづくりのため	13位 独立・起業のため
14位 独立・起業のため	13位 独立・起業のため	14位 ダイエットのため

※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。 ※「その他」の回答を除いて掲載
 (両グラフとも 20-34歳 N= 518、35-49歳 N=210、50-64歳 N= 208)

男性では「英語」「簿記」など上位の項目に年齢帯で大きな違いはみられない。年齢の上昇とともに「ゴルフ」などの趣味系の習い事が上位に登場。

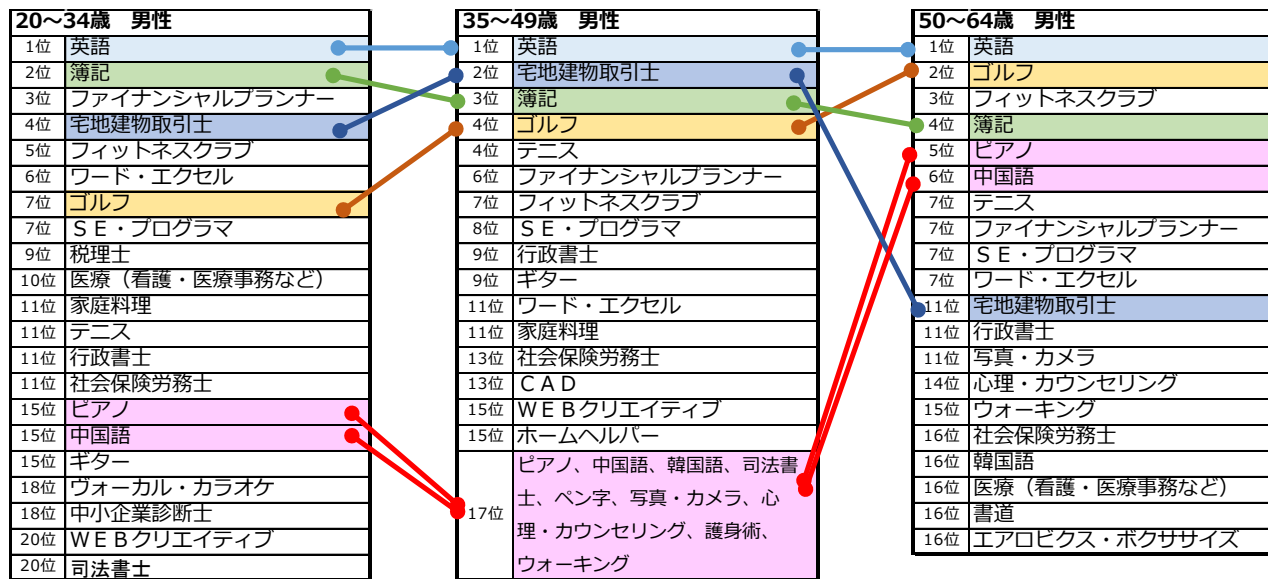
「ファイナンシャルプランナー」「宅地建物取引士」などのビジネス系講座は50～64歳では順位が低下。

男性のこの1年間に実施した習い事・学び事の年齢帯別比較では1位は全年齢を通じ「英語」。ほかでは、「簿記」「ファイナンシャルプランナー」「宅地建物取引士」などのビジネス系資格は20～34歳、35歳～49歳の方が50～64歳よりも順位が高い。

一方「ゴルフ」は年齢帯が上がるごとに順位を上げている（20～34歳／7位→35～49歳／4位→50～64歳／2位）ほか、「ピアノ」「写真・カメラ」などの趣味系の講座、「中国語」は50～64歳の順位が高くなっている。

学ぶ目的では年齢帯による大きな違いはみられないが、20～34歳では「就職・転職のため」、35～49歳では「ストレス発散・気分転換のため」、50～64歳では「プライベートを充実」の項目がそれぞれ順位を上げている。

■この1年間に実施した学び事・習い事～年齢帯別・順位比較



■学び事・習い事を実施した目的～年齢帯別・順位比較



※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。 ※「その他」の回答を除いて掲載
 (16年 20-34歳 N=518、35-49歳 N=209、50-64歳 N=208)